

(3代)今紫

遊女。維新に乗じて花魁で豪奢極めるも娼妓解放令、以後、長く破天荒な人生を送った。

いまむらさき

ペリー来航・1853 =

京都の三条家諸大夫森寺大和守の娘に生れ、御用医師高橋丹齋の養女になる。本名高橋幸。

桜田門外変・1860 = 7歳 :

生麦事件・・・1862 = 9歳 :

維新の前ころから養家が衰微したので、

明治維新・・・1868 = 15歳 :

自ら江戸柳橋へ下地っ子として売られ、やがて、。***吉原の大黒楼の妓となり、花魁となる。**
大黒楼は吉原での3階建洋館の元祖で、この洋館見たさに来る客もあって大繁盛し、名も「金瓶楼」とかえたという。はじめ静と称し、のち3代今紫とうたい、踊りの名手で、特に仙女に扮した白拍子が評判だったという。木戸孝允はその容色に執心したが従わなかった。ある時、木戸が戯れに炭火を挟んで出したのを、慌てる風もなく袖でうけ、また相手に返したので木戸の方が狼狽したと伝えられる。超豪華の衣裳など全盛を誇り、2万円で身請けの話が持ちかけられたが、折合わなかった。

廃藩置県・・・1871 = 18歳 :

***娼妓解放令になると、吉原を出、新富座の株を買って芝居茶屋三州屋を開く。**

明治6年政変 1873 = 20歳 :

・・・1880 = 27歳 :

明治14年政変 1881 = 28歳 :

__気移りする性格で、一時は三条公爵邸のお部屋さまとして山の手あたりに住んだり、相馬事件の錦織剛清と知り合い、あり金をすべて使われて別れたりした。また、根岸の御行の松のところに、待合「御行亭」を開いたりした後、

帝国憲法発布 1889 = 36歳 :

大本教・・・1892 = 39歳 :

***役者となり、神田三崎町の三崎座で男女合同劇を演じる。高橋屋今紫の名で、遊女阿古屋に扮し好評。**

日清戦争始・1894 = 41歳 :

関西から九州へと地方巡業に回るうち、

白馬会・・・1896 = 43歳 :

__熊本で連日自分の舞台姿を描いていた画家広湖から声をかけられ、その出来栄えに感心、

八幡製鉄始・1897 = 44歳 :

東京で修業するように促し、ともに上京し、支援し続けるうち、

子規句歌革新 1898 = 45歳 :

ビブア国産化・1900 = 47歳 :

広湖が自ら家督を弟に譲り、

曲折経ながらも、

日露戦争終・1905 = 52歳 :

満鉄発足・・・1906 = 53歳 :

***高橋家の夫婦養子になるに至る。その後は、画壇で広湖が活躍するのを見守って暮らしていたが、**

韓国反日暴動 1907 = 54歳 :

明治天皇没・1912 = 59歳 :

__広湖が急逝すると、

大正政変・・・1913 = 60歳 :

__後を追うように、没した。